



H7N9 の台湾人ビジネスマンが死亡 台湾籍初

中央通訊社 www.cna.com.tw 2017-02-28 14:54

(中央通信記者張茗誼 台北 28 日電)

台湾人ビジネスマン 1 名が中国大陸に仕事で出張し、2 月初めに H7N9 鳥インフルエンザと確診されたが、27 日の入院治療を経て、容体は悪化の一途だった。昨日夜、多臓器不全により死亡したが、これは国内では第 5 人目の H7N9 患者中、二人目の死亡患者となったが、同時に、台湾人としては初の病死者となった。

衛生福利部疾病管制署は 2 月初旬に発表した高雄の 69 歳ビジネスマンは、01 月 23 日に中国広東省陽江市に出張したが、発熱と悪寒の症状により、2 日後に台湾に戻り病院を受診、検査をうけたところ、新型 A 型インフルエンザの検査で陰性となったが、29 日に発熱、痰混じりの咳、胸苦しきの症状が現れたため、再び病院を受診したところ肺炎を疑われ、02 月 01 日に入院、再び新型の A 型インフルエンザとなり、二回目の検査で初めて H7N9 陽性が検出され、直ちに ICU 病棟にて治療を受けることになった。

その後、疾病管制署は、この台湾人ビジネスマンが感染した H7N9 インフルエンザに突然変異が発生していることを発見し、現有のタミフルやリレンザなどの抗ウイルス製剤への耐性があったため、日本におも新型抗ウイルス剤の対患者使用を申請していた。

疾病管制署の羅一鈞副署長は、本日 (02 月 28 日)、この患者が ICU で医療グループと感染症専門家による全力での治療を受け、抗ウイルス製剤や、呼吸器、ECMO、血液透析等を使つての治療を受け続けていたが、病状が悪化、多臓器不全により 02 月 27 日夜に死亡。これは国内で確診された H7N9 患者 5 名中、第二番目の死亡であり、台湾籍人としては初の死亡事例となったとした。

羅一鈞副署長は、患者は 60 歳を超えており、加えて高血圧の病歴があり、重症肺炎が現れ、高い酸素必要度、抗インフルエンザウイルス製剤耐性などがあり、これらは全て医学文献上既に H7N9 死亡リスク要素として知られているもので、医療チームによる全力を挙げての治療の甲斐なく、不幸にも病死したと語った。

羅一鈞副署長は、最近大陸での H7N9 患者が増え続けており、昨年 10 月から今までに累計 461 例の H7N9 インフルエンザ患者が出ているが、江蘇省の 128 例が最多であり、次いで浙江省の 79 例、広東省の 52 例、安徽省の 50 例などとなっているが、患者の多くには鳥類や活禽市場での暴露歴があり、その他に 3 分の 1 には鳥類との接触歴がなく、50 歳以上のグループが多くを占め、致命率は 4 割近くになっていると指摘している。

疾病管制署は、中国大陸は H7N9 インフルエンザのピーク期にあるが、当地の台湾人ビジネスマンは言うまでもなく、これらの地区への渡航を計画している台湾人は、警戒感を高め、手洗いの励行など個人の衛生措置をとり、鳥類への接触や活禽市場への出入りは避けるべきだと再度呼びかけている。

疾病管制署は、感染を避けるためにもニワトリやアヒル、ガチョウ及びタマゴ類を食べる際にはよく加熱することとアドバイス。帰国入国時にも発熱や咳などインフルエンザ様症状がある場合には航空会社スタッフ及び空港の検疫スタッフに申し出なければならない、もし、上述症状が現れた場合には、マスクをし、速やかに病院に行くこと、関連情報は疾病管制署のホームページ (<http://www.cdc.gov.tw>) 或いは、防疫専用ホットライン 1922 (或いは 0800-001922) で得られる。

<http://www.cna.com.tw/news/firstnews/201702285018-1.aspx>

..... 以下は中国語原文

台商染 H7N9 搶救 27 天病逝 台籍首例

中央通訊社 www.cna.com.tw 2017-02-28 14:54

(中央社記者張茗誼台北 28 日電) 一名台商日前赴中國大陸工作，2 月初確診感染 H7N9 禽流感，經 27 天住院搶救，病情仍持續惡化。昨晚因多重器官衰竭病逝，是國內 5 例 H7N9 個案中第 2 例死亡，也是首名台籍人士。

衛福部疾管署 2 月初公布一名 69 歲高雄台商，1 月 23 日到中國大陸廣東省陽江市工作，因出現發燒、畏寒症狀，

2 天後回台就醫，檢驗新型 A 型流感為陰性，29 日開始發燒、咳嗽有痰、呼吸喘等症狀，再度就醫診斷疑似肺炎，2 月 1 日住院病再次通報新型 A 型流感，第 2 次才驗出 H7N9 陽性，隨即住進加護病房救治。

隨後疾管署發現，台商感染的 H7N9 流感病毒發生突變，對現有的克流感、瑞樂沙等抗病毒藥物具抗藥性，因此以專案申請日本新型抗病毒藥物供患者使用。

疾管署副署長羅一鈞今天表示，該名患者經加護病房醫療團隊和感染症專家全力救治，持續使用抗病毒藥物、呼吸器、葉克膜、血液透析等治療方式，仍因病情惡化導致多重器官衰竭，2 月 27 日晚間病逝，是國內至今 5 例確診 H7N9 流感個案中，第 2 例死亡個案，也是首名台籍人士。

羅一鈞說，患者因年齡超過 60 歲，加上有高血壓病史、出現嚴重肺炎、持續高氧氣需求量、克流感抗藥性等，這些都是醫學文獻上已知與 H7N9 死亡相關聯的高風險因子，即便醫療團隊竭盡全力救治，仍不幸病逝。

羅一鈞指出，近期中國大陸 H7N9 病例持續增加，自去年 10 月至今累計 461 例 H7N9 流感病例，以江蘇省 128 例最多，其次為浙江省 79 例、廣東省 52 例、安徽省 50 例等，個案多具禽類、活禽市場暴露史，另有 1/3 沒有禽鳥接觸史，以 50 歲以上族群為多，死亡率近 4 成。

疾管署再度呼籲，目前中國大陸仍處 H7N9 流感高峰期，無論是當地台商或是計劃前往該地區的民眾均應提高警覺，務必落實洗手等個人衛生措施，避免接觸禽鳥類與出入活禽市場。

疾管署提醒，食用雞、鴨、鵝及蛋類要熟食以避免感染。返國入境時如出現發燒、咳嗽等類流感症狀，應主動告知航空公司人員及機場港口檢疫人員，如出現上述症狀應戴上口罩儘速就醫，相關資訊可至疾管署網站 (<http://www.cdc.gov.tw>)，或撥打免付費防疫專線 1922 (或 0800-001922) 洽詢。

20170228C H7N9 の台湾人ビジネスマンが死亡 台湾籍初(中央通訊)